

古瀬戸連区 市長と地域との懇談会

日 時：令和 6 年 7 月 6 日（土）
午後 6 時から午後 6 時 5 0 分まで
場 所：古瀬戸集会所
参加者：14 名

【内 容】

市からの報告 テーマ：ごみの減量について

- ・プラスチック・剪定枝・ミックスペーパーなどの分別が着実に進んでいる。
- ・分別が進んだので、燃えるごみの量が減り、晴丘センターの負担は減少した。
- ・ごみ全体の総量では前年から 3%程の減少と大きく減っていない。
- ・まだ、分別が徹底されていないこともあり混ざっていることもある。
- ・燃えるごみの中で一番多いのは調理くず、食べ残し、手付かずにそのまま捨ててしまう食料品であり、市としてフードロスの削減に取り組みたい。

市からの報告 テーマ：下水道料金の値上げについて

- ・現在 6 月市議会にて、下水道料金の改定が議決された。
- ・下水道料金の料金改定は 24 年ぶりとなる。
- ・下水道事業は公営企業であり、本来は受益者負担で経営が求められるところ、汚水処理する費用の約 65%しか使用料で賄えていない。
- ・残りの 35%は税金で補填している現状であり、下水道を利用していない方の税も含まれている。
- ・経費回収率は本来 100%が求められるもの。今回の改定によって、尾張旭市、長久手市と同水準の経費回収率 80%となる予定である。
- ・今回の改定に伴い、これまで補填に充てていた税を福祉や子育て支援に活用するとともに、下水道の普及率の向上に努めていきたい。

地域の課題：ごみ減量について

- ・プラごみの回収が月に 1 回に減るといふ噂を聞いたが事実か。
⇒そのような事実はない。むしろ週 1 回に増やしてほしいという要望を多数聞いている。回収スケジュールの関係ですぐには実施できないが、最もよい方法を検討しているので時間をいただきたい。
現在、資源リサイクルセンターに持ち込みが集中しているので、10 月から市内 6 か所に臨時の回収拠点を設けて分散したいと考えている。

- 剪定枝の回収時期が6月から11月になっているが、12月まで延長してほしい。
- 剪定枝のサイズについて、長さは切れればよいが、太さ（直径）を10センチに割ることが難しいので緩和してほしい。
- 市からの配布物に「汚れたプラごみは可燃で捨ててください」と記載があるが、市としてごみの減量に取り組むのであればグレーゾーン（可燃でも可）にするのではなく、しっかりお願いするべきである。
- 他地区からごみを持ち込んでいるケースが散見される。
- カラスによるごみ散乱の被害がでている。ボックス型のネットがあるとよい。

地域の課題：その他

- 少子高齢化を背景ににじの丘学園ができたが、学校行事を含めPTAや先生と自治会の関係が希薄になっている。一方で、見守りなどのボランティアの協力依頼はくるが、担い手不足のなか簡単ではない。瀬戸市としてこの問題をどう考え、地域を応援するのか考えてほしい。
- 洞街道に入っていく交差点がにじの丘学園の通学路になっているが、車1台分のスペースしかなく危険である。1メートルほどの市の土地を挟んで住宅が建ったので、このスペースで歩道を確保してほしい。先生の通勤や雨の日は保護者の送迎による渋滞も起きており、車の通行量も多い。